

平成 29 年 5 月 12 日

各 位

会 社 名 クレアホールディングス(株)
代表者名 代表取締役社長 黒田 高史
(コード番号 1757 東証第 2 部)
問合せ先 取締役 岩崎 智彦
(Tel. 03-5775-2100)

たな卸資産評価損の計上、及び業績予想の修正に関するお知らせ

当社が、たな卸資産評価損を計上すること、併せて平成 28 年 11 月 14 日に公表した平成 29 年 3 月期業績予想を修正することをお知らせいたします。

記

1. たな卸資産評価損の計上について

当社グループの太陽光発電施設建設事業を中心に推進している南九州エリアは、電力会社の送電設備の容量を大幅に上回る電力会社への系統連系（発電施設を電力会社に接続すること）を申請する発電事業者が殺到したため、電力会社による実施事業者の特定作業が何段階にもわたり期間を要すようになり、また、事業者側負担金に送電設備増強の目的が付加されました。

そのため、平成 29 年 3 月期第 4 四半期において、負担金概算をもとに事業判断を行っていた 3 案件について、負担金が想定を上回ったこと、及び負担金、送電設備増強工事の工期がまだ確定していないこと等の理由により断念することとし、それら案件に係るたな卸資産（仕掛販売用太陽光設備）の帳簿価額 20 百万円を評価減し、当該評価損を売上原価に計上いたします。

2. 業績予想の修正

平成 29 年 3 月期通期連結業績予想の修正（平成 28 年 4 月 1 日～平成 29 年 3 月 31 日）

	売上高	営業利益	経常利益	親会社に帰属する当期純利益	1 株当たり当期純利益
前 回 発 表 予 想 (A)	百万円 1,017	百万円 △241	百万円 △247	百万円 △250	円 銭 △3.13
今 回 修 正 予 想 (B)	604	△393	△397	△400	△4.65
増 減 額 (B-A)	△413	△152	△149	△149	—
増 減 率 (%)	△40.6	—	—	—	—
(ご参考) 前期実績 (平成 28 年 3 月期)	457	△370	△444	△436	△8.36

3. 業績予想修正の理由

売上高につきましては、予想を 413 百万円下回る結果となりました主な要因は、静岡県伊豆の国市の太陽光案件におきまして、自治体からの指導により再計画の必要が生じたため開発計画が遅れ、今年度に予想していた 393 百万円の売上高を計上できませんでした。また、共同事業形態による矢代田駅周辺地区の不動産開発事業におきまして、組合の設立や区画割及び地盤改良工事等が遅滞し、今年度に予想していた 388 百万円の売上高を計上できませんでした。今年度第 3 四半期より新たな事業としてコスメティック事業を開始し、業績予想に

織り込んでいなかった当該売上高を 370 百万円見込むものの、全体では上記結果となる予想です。

利益につきましては、静岡県伊豆の国市の太陽光案件、及び矢代田駅周辺地区の不動産開発事業の売上減に伴う売上総利益 80 百万円の減少に加え、上述のたな卸資産評価損 20 百万円の計上、及び平成 28 年 10 月に建設業子会社として設立したクリア建設株式会社における人件費、営業経費 17 百万円の計上等により、営業利益、経常利益及び親会社に帰属する当期純利益について予想を下回りました。

以上